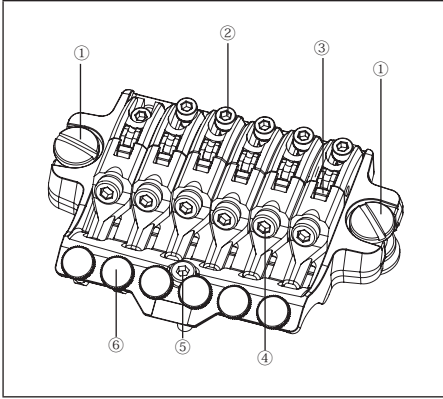


FX Edge III/FX Edge III-8ブリッジ

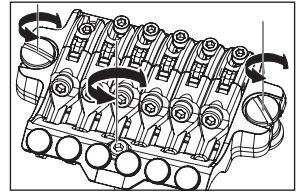
■ FX Edge III



- ①メインスタッド
- ②サドル・ロック・ボルト
- ③ストリング・ホルダー・ブロック
- ④ストリング・ストッパー・ボルト
- ⑤リアスタッド
- ⑥ファイン・チューニング・ボルト

弦高調整

1. ブリッジ本体左右のメイン・スタッドをマイナスドライバーで回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します(各弦ごとの調整は行えません)。
2. リア・スタッドを六角レンチ(3mm)で回して、ブリッジがギターボディ表面とおおよそ平行になるように調整します。

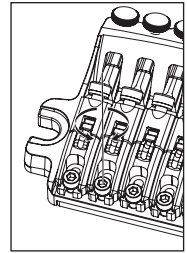
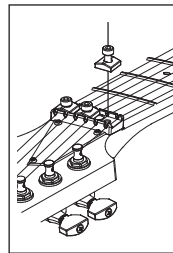


※ リア・スタッドの調整でも弦高が変化しますので、最終的な弦高の確認はリア・スタッドを調整した後行ってください。
メイン・スタッドの調整の際は、無理に回してネジ穴が傷つかないように、十分に弦を緩めてから行ってください。

イントネーション調整

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ(3mm)で緩め、十分に弦を緩めます。
2. サドル・ロック・ボルトを六角レンチ(2mm)で緩め、サドル位置を調整します。

※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。

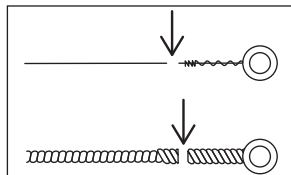
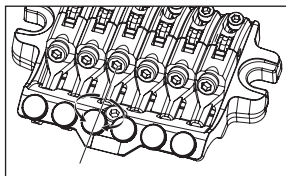


JP



弦交換

1. ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、糸巻きから弦を取り外します。
2. ブリッジ本体のSTRING・STOPPER・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。
3. 新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします。
4. ボールエンドを切り落とした側の弦の先端をサドルとSTRING・ホルダー・ブロックとの間に挿入し、STRING・STOPPER・ボルトを締めて弦を固定します。
5. 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。
6. チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。



⚠️ ご注意

- チューニングを行う前に、STRING・STOPPER・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

ファイン・チューニング

ロッキング・ナットで弦をロックした後も、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておく、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。

